

国内最大級の「ピアノの祭典」 ピアノコンクール「特級グランプリ」決定！

例年のべ4万5千人が参加する、夏の「ピアノの祭典」ピティナ・ピアノコンペティション（主催：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会／略称：ピティナ）は、新型コロナウイルス感染症の影響でほぼすべての部門で中止を余儀なくされたが、最難関となるソロ部門「特級」は無観客審査・ライブ配信で運営を続け、21日（金）に最終審査となるファイナルの開催を、限定数の観客を迎えて実現した。

サントリーホールで渾身のコンチェルトを披露したファイナリスト4名の中から、グランプリに選ばれたのは尾城杏奈さん（東京藝術大学大学院1年／神奈川県横浜市出身）。ラフマニノフ作曲のピアノ協奏曲第3番という複雑な難曲を見事にまとめあげ、丁寧に自然な演奏を披露した。じっくりと楽譜を読み込む緻密な音楽づくりの過程がその演奏の姿勢にしっかりと表れており、まさに音楽教育団体の最上位の賞を受賞するにふさわしい、ピアノを弾く子どもたちの道標となる演奏だったと言って差し支えない。観客の投票で決定する聴衆賞を受賞したのは、今回最年少15歳で入賞した森本隼太さん（学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校／京都府出身）。防疫対策のため現地で生演奏を聴けた観客は限られていたが、指揮に岩村力氏、オーケストラに東京交響楽団とプロの音楽家と見事な共演を果たした4人の壮大な生演奏に、会場からは惜しめない拍手が贈られた。



「ライブ配信でコンクール鑑賞」がトレンドに 再生数のべ26万回突破

入場制限があることを踏まえ、今年の特級は二次予選からすべての審査がYouTubeで配信された。すべての審査が平日の日中だったにもかかわらず多くの観客がライブ配信に訪れ、チャット欄では

リアルタイムで演奏の感想や応援コメントが投稿された。アーカイブされた動画の再生回数は 21 日（金）までに、二次予選 2 日間の動画で計 12 万回、セミファイナル 6 万回、ファイナルは即日 8 万回と、特級ライブ配信全体でのべ 26 万回もの再生数を記録している。ファイナルでの最大同時接続数も、例年は平均して 2500 人程度だったところ、今年は 8400 人と 3 倍以上の人が画面の前で若きピアニストたちの活躍を見守った。

配信中のチャット欄では、鑑賞者たちが奏者の演奏への感想を共有し、「推し」の奏者の魅力を語り合う場面も多く見られた。「ライブ配信でコンクール鑑賞」というピアノコンクールの新しい楽しみ方が、日本のピアノ学習・愛好シーンに定着したといえるだろう。新型コロナウイルスの影響があったからこそこの反響を受け、ピティナは来年度以降のピアノコンクールのプロモーションにあわせ、若い音楽家たちを応援する輪をさらに広げていく意向だ。

◆ファイナリストプロフィール（入賞順）

グランプリ：尾城 杏奈（おじろ・あんな）



大阪府吹田市生まれ、神奈川県横浜市出身。4 歳よりピアノをはじめ。全日本学生音楽コンクールにて、小学校の部東京大会第 1 位、中学校の部全国大会第 1 位。ピティナ・ピアノコンペティション Jr.G 級ベスト賞、福田靖子賞選考会入選。野島稔・よこすかピアノコンクール第 3 位。マルタ国際ピアノコンクール Japan Piano Open 第 2 位。ポーランドにてトルン交響楽団と共演。学内にて藝大クラヴィーア賞を受賞し、モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。2019 年青山財団奨学生。2020 年宗次エンジェル基金新進演奏家国内奨学生。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学を卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞、藝大クラヴィーア賞を受賞。現在同大学大学院修士課程 1 年に在学中。東誠三氏、日比谷友妃子氏に師事。現在、神奈川県横浜市在住。



銀賞・聴衆賞：森本 隼太（もりもと・しゅんた）

2004 年生まれ。京都府京都市に生まれ、京都府宇治市で育つ。学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校に在学中。京都府宇治市在住。ピティナ・ピアノコンペティション全国大会において、2014 年 C 級金賞、2016 年 E 級金賞、2018 年 G 級金賞。



銅賞：谷 昂登（たに・あきと）

2003 年生まれ。福岡県北九州市に生まれ育つ。現在、桐朋女子高等学校音楽科（共学）2 年に特待生として在学中。東京都府中市在住。ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会 2010 年 A1 級金賞、2011 年 B 級金賞、2013 年 D 級銀賞、2014 年 Jr.G 級金賞。



4位:山縣 美季(やまがた・みき)

2002年生まれ。神奈川県鎌倉市に生まれ育つ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部1年在学中。神奈川県鎌倉市在住。

ピティナ・ピアノコンペティションG級全国大会入選の他数々のコンクールで入賞経験があり、2021年度に延期されたショパン国際ピアノコンクールへの出場が決まっている。

◆特級とは：

<https://compe.piano.or.jp/event/tokkyu/about.html>

本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）特級担当
黒木 真紀子（くろき・まきこ）川野辺 雪菜（かわのべ・ゆきな）

TEL 050-5893-8010（黒木携帯） / 090-9851-0931（川野辺携帯）

Email public_relations@piano.or.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大抑止のため、テレワークを推進しております。

お問合せはメールでいただけますと幸いです。

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）とは？

1966年に創立されたピアノ指導者の団体で、全国に約17,000人の会員と、620箇所の拠点を持つ。また、のべ45,000組超の参加者を誇る世界最大規模のピアノコンクール「ピティナ・ピアノコンペティション」や、全国600地区で通年行われ約48,000組のピアノ学習者・愛好者が参加するアドバイス付きの合同発表会「ピティナ・ピアノステップ」等、ピアノ教育・音楽教育活動を進めている。

本部事務局：東京都豊島区巣鴨1-15-1 代表者：福田成康（ふくだ・せいこう 専務理事）

www.piano.or.jp

ピティナ

検索